



Stay Home with Compassion

ひとさじの会 代表 高瀬顕功



令和2年は日本にとって輝かしい年になるはずでした。東京オリンピックが開催され、海外からの観光客は大幅に増え、経済的成長を享受する。しかし、とある病気の流行によって大きく事態は急変し

ました。そう、新型コロナウイルスです。

この感染症があつという間に広がると、あるはずだった明るい未来どころか、変わらないと思っていた日常さえ大きく変わりました。卒業式や入学式は軒並み中止となり、通学もままならない日が続きます。飲食店は営業自粛を迫られ、密閉、密集、密接の三密を避けるため、多くの行事やイベントが中止となりました。諸行無常という教えがこれほど身に染みることはありません。「当たり前」だと思っていた日常は当たり前でなく、「有難い」ものであることに気づかされました。

感染防止のために「STAY HOME(家にいよう)」が合言葉になりましたが、それが難しい人もいます。

おにぎり通信

No. 05

ひとさじの会ニュースレター 2020

2020年6月15日

発行：社会慈業委員会（ひとさじの会）

〒111-0022 台東区清川 1-8-11 光照院内

hitosajinokai@gmail.com

http://hitosaji.jp

目次

- 1 頁 Stay Home with Compassion
- 2 頁 令和元年度の活動報告 4 頁 コロナ禍での対応
- 5 頁 令和2年度の活動予定
- 6 頁 滋賀支部活動報告
- 7 頁 ホームページのリニューアル
- 8 頁 決算報告 支援協力御礼

生活を守るため働きに出ざるをえない人、必要な情報が届かない人、そして、そもそも安定した住居を持たない人などです。政府や各自治体は弱い立場にある人への支援を明言していますが、制度の複雑さや実施の遅さから、「今困ってる人」へ必要な支援が届かない可能性も指摘されています。

私たちは3月から配食・夜回りボランティアの募集を停止する一方、4月からは活動の回数を増やし、路上で困っている人たちに食事と情報を届けることにしました。この緊急事態下で活動を継続する中で、ありがたいことに、品薄となっているマスクや消毒液などのご寄付をたくさんいただきました。ボランティアの手が足りなければいつでも手伝うよとのお声も頂戴しています。ご自宅にいらながらも皆様の他者を思いやる優しいお心はしっかりと届いております。この場を借りて深く感謝申し上げます。

弊会としては、この状況が収束するまでボランティアの募集は停止することにいたしました。また、三密を避けるため、総会は書面にて行い、5月27日付で承認されました。今は一日でも早く事態が収束することを願うばかりです。みなさまもどうぞご自愛ください。 合掌

〇令和元年度の活動報告

〇炊き出し・夜回り支縁

- ・期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ・開催日数26回(原則として毎月第一・第三月曜日)
- ・配食数(おにぎり)3788個
- ・ベトナム揚げ春巻 2304個
- ・衣料品など生活物資 2225点
- ・寝袋配布数 71個 他団体に100個寄附
- ・配食ボランティア 延べ649人(事前連絡者のみ)

前年度に引き続き、本年度も出会う路上生活者数の減少が続いていました。オリンピックの直前であることの影響か、上野公園では、夜に台東区役所の職員などが訪問し、生活保護の申請を促していました。路上の人の減少は、その成果かもしれません。しかしながら、年度末には新型コロナウイルス感染拡大の余波で仕事を失った人が、新たに路上に投げ出されるようになりまし。多岐にわたるコロナ禍の影響が続いて、どのように路上生活者を追い詰めることになるのか心配は続きます。

悪い予感もある一方で、いつもおにぎりをお渡ししている男性の一人が、路上から就労のための学校に通い、仕事を得るに至ったということがありました。配食・夜回りがない日にも、時折、事務局の寺を訪ねては学習の進捗状況を語り、資格取得の時には大喜びでご報告にお越しになりました。路上から学校に通って資格を得るといふ快挙を達成した男性のおかげで、ひとさじメンバーも大いに勇気づけられました。



春巻を揚げる様子

世間は経済的に冷え込んできておりますが、どうかはこの男性を含む、多くの路上に生きる人が、仕事をすることで安心して過ごせる場ができることを祈ります。



入浴券

また、冬には、台湾の仏教徒から、路上生活者に対して1人4回分の都内共通の入浴券170人分のご寄付をいただき、それを配り歩きました。寒さのなかに暮らす路上の人々には、満面の笑みで入浴券を受け取って下さった方もおられました。冷え切った身体と心を温めるのは、お風呂と相手の状況に心を寄せる気持ちのようです。さらに、この入浴券のご寄付に引き続いて、ひとさじの会には在日の台湾・ベトナム両国の仏教徒たちから多くの寝袋が届きました。本年度はひとさじの会の予算で購入した寝袋もあったので、昨年度お配りした新宿だけでなく、多摩川周辺で野宿している方々にも寝袋を届けることができました。多くの方の慈愛のおかげです。この場をお借りして、深く御礼を申し上げます。



寝袋のお渡し

○葬送支縁

- ・納骨供養 5 件
- ・葬儀 2 件
- ・法事 2 件
- ・合同法要 1 件
- ・棚経 2 件
- ・墓参 7 件
- ・夏祭り慰霊法要 2 件

本年度には、きぼうのいえ様のお墓がひとさじ事務局を置いている光照院に建立されました。落慶当日は、きぼうのいえ様の礼拝堂でキリスト教式の法要を行い、そのまま光照院にて仏教式の法要と納骨供養を行いました。ご遺骨の一部を分骨して光照院墓地に納骨し、残りのご遺骨を、きぼうのいえ様がもう一つ所有している長野県内の墓地に埋葬することになりました。

このような形をとることにより、利用者さんが、納骨されたという報告を聞くだけでなく、自ら直接きぼうのいえ様のお墓に参拝できるようになりました。さっそくお墓ができて一か月後、利用者の一人が付き添いスタッフと一緒に車イスで参拝して、思い出を語りながら笑顔でお帰りになりました。

決して血縁ではないけれども、墓参によって生前からのつながりを実感するとともに、自分の最期の行き先が明確になることで、安心された方もいらっしゃるそうです。

この他、山友会様とコスモス様の納骨法要が令和2年3月に合同で行われました。両団体ともに、それぞれ5名のご遺骨を埋葬いたしました。あわせて10名の方の納骨ですので、当初は大勢の関係者が参列する予定でした。ところが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮して、急きょ参列者を両団体のスタッフに限定して法要を行うことになりました。親しく過ごした人たちのことを、みんなでお見送りが出来ないのは、本当に淋しいことです。

新年度は、人生の最期の時間を親しい人とともに過ごし、その後も再び大勢で墓参ができるよう、新型コロナウイルスによる混乱の早期収束をお祈りいたします。

○施米支縁

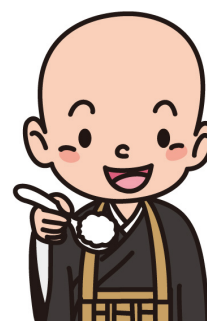
本年度も、全国の浄土宗寺院からお米がひとさじの会に届けられました。また、この活動を理解して応援くださる全国の個人や団体、諸宗派の寺院様や檀信徒様よりお米を頂戴しています。これらのお米は、例年通り、ひとさじの会の活動で配られるおにぎりに使われる他、浅草山谷地域で活動する認定 NPO 法人山友会様や、NPO 法人きぼうのいえ様、NPO 法人友愛会様、(一社) あじいる様等の関係団体、こども極楽堂における子ども食堂や母子支援施設等、「食」を必要としている方々にお福分けをさせていただきました。

また、年度末には、コロナ禍の影響でパートタイムの仕事を失った子育て世帯など、厳しい生活を強いられることになったご家庭が増加しました。加えて、学校の休校や子ども食堂の閉鎖もあり、給食や子ども食堂での食事も得られない子どもでてきました。

そこで、NPO 法人台東区の子育てを支え合うネットワーク様から無料食品配布を行いたいとの相談があり、こども極楽堂や近隣寺院の庭先での無料食品配布や食品の直接配送も行うことになりました。

このように大勢のご家庭に食を届けることができているのも、全国からの施米支縁のおかげです。心より感謝を申し上げます。

さらに11月には、大型保冷庫と冷凍庫を滋賀支部の指定場所に設置しました。食料保存量が増したことにより、当会滋賀支部長でフードバンクびわ湖理事長の曾田俊弘上人が、以前にもまして精力的にフードバンク活動を展開し、コロナ禍のなかにも力強く困窮家庭に食品をお届けしています。(詳細は6頁をご覧ください)



〇コロナ禍での対応

事務局長 吉水岳彦

【新型コロナウイルス感染拡大による世間の変化】

令和2年1月から日本にも感染が広がった新型コロナウイルスによって、経済の急激な悪化がもたらされ、結果として、多くの方が仕事を失い、なかには倒産する会社まででてきました。そんななか、感染リスクの高いネットカフェも休業が相次ぎ、ネットカフェを出され、路上での生活を余儀なくされる人も徐々に始まってきました。しかし、路上生活者への炊き出しを行う複数の団体は、三密を避けるため、活動を自粛せざるを得なくなるという難しい事態になりました。

ひとさじの会では、高齢で基礎疾患を持つ人が多い路上生活者に感染が広がることを懸念して、2月の夜回りからマスクの配布（1人5枚）を開始しました。翌3月上旬からは、路上生活者とボランティアの双方が感染しないために活動内容と人員の縮小を決定しました。具体的な

内容は、以下の通りです。

- ・マスク、手洗い、手指消毒の励行
- ・人の密集を避けるため、炊き出しを中止して弁当を購入
- ・配布物は弁当、カイロ、マスクなどに限定
- ・各コース最小限の人数での夜回り
- ・配食メンバーの集合場所を分散
- ・夜回り中、接触時間を短縮
- ・飛沫感染防止のため、夜回り時にゴーグルなどを着用

入手困難だったマスクは、3月上旬から手作りマスクなどが届き、また、シューズメーカーのKEEN様からも600枚のマスクが届きました。当会内部でも、有志の方がマスクを手作りし、各自が作製したマスクを市販のマスクと一緒に配布するようになりました。また、配布物に新型コロナウイルスについての基礎知識や罹患した場合の相談窓口を記載したチラシの配布を開始しました。



手作りマスク



KEEN様からのマスク



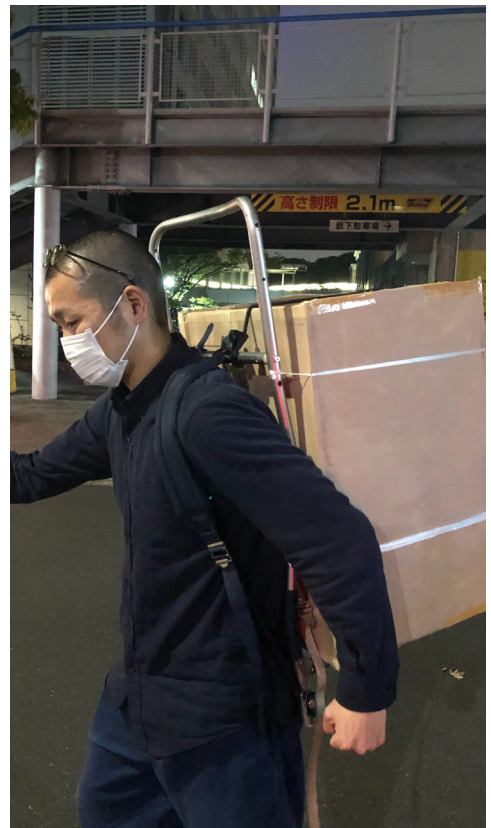
緊急事態宣言中、閑散とした上野駅前にて配食



オンラインで対策会議



お配りした除菌剤



少数での配食

○令和2年度の活動予定

炊き出し・夜回り支縁は、例年通り、月二回（原則第一、第三月曜日）行います。開催予定日は下記のようになります。

令和2年 4/6、4/13、4/20、4/27、5/4、5/11、5/18、5/25、6/1、6/15、7/6、7/20、8/3、8/17、9/7、9/28、10/5、10/26、11/2、11/16、12/7、12/21 **令和3年** 1/11、1/25、2/1、2/15、3/1、3/15

令和2年4月から、コロナ禍緊急対応として毎週月曜日に少人数にて配食を行っていますが、6月以降も社会の状況や他団体の活動状況に応じて、活動の内容や回数を変更していきます。

新型コロナウイルス感染リスクが低くなり安全に活動ができる状況になったときに、ボランティアの募集やお寺での炊き出しを再開する予定です。

○滋賀支部活動報告

ひとさじの会滋賀支部長
フードバンクびわ湖理事長
曾田俊弘

昨年11月に、ひとさじの会滋賀支部の備品として、大型保冷庫2台と冷凍庫1台を購入しました。保冷庫は野洲市にあるフードバンクびわ湖の食料倉庫に、冷凍庫は守山市にある事務



大型保冷庫

局に設置し、日々の活動に使わせていただいております。

おかげさまで、お米・野菜・冷蔵食品・冷凍食品の長期保存が可能となり、取り扱える食品の品目が増え、活動の幅を大いに広げることができました。

フードバンクびわ湖では、目下、「給食ロス活用プロジェクト」に総力を挙げて取り組んでおります。この活動は、新型コロナウイルス感染の拡大を機縁として生まれました。

2月末に政府からの休校要請を受け、滋賀県でも公立小中学校を3月2日から一斉休校にすることが決定されました。これによって学校給食がストップし、給食用の食材が行き場を失い、廃棄処分の危機に瀕することになりました。

「もったいないを笑顔ときずなに！」「食品ロスを地域資源に！」を旗印に活動しているフードバンクびわ湖にとって、大量の食材が廃棄されるということは許されざることであり、黙って見過ごすわけにはいきません。

そこで、「われわれが給食ロスを引き取ろう！」と決意し、県内各市町に引き取りを打診したところ、幸いにもご快諾をいただくことができました。それから、冷凍車を借りて各市町の給食センターをまわって食材を引き取り、生活困窮世帯・子ども食堂・福祉関係団体にお届けする毎日が始まりました。

この前例のない活動に乗り出そうと決断できたのは、保冷庫と冷凍庫を使える環境が整っていたからに他なりません。

一日も早くコロナ禍が終息し学校が再開されることを願いながら、日々活動に精進しております。県内各地から多くのボランティアの皆様が食材の搬入・小分け・配布といった作業にご参加くださっているおかげで、活動の輪が各地に広がり、食材が広く行き渡り、われわれの目指す「もったいないを笑顔ときずなに！」がささやかながら実現している手応えを実感しております。

保冷庫・冷凍庫は、毎日おびただしい食材が激しく出入りし、フル稼働状態です。事務局にある冷凍庫に、ひとさじの会の「ロゴマーク」と「活動目的」を張り付け、自分の福祉実践の原点を絶えず確認するよう心掛けております。今後も長く大切に活用させていただく所存です。




○ホームページのリニューアル

ひとさじの会理事 工藤量導

2009年10月2日、ひとさじの会の立ち上げとほぼ同時に作成したHP。長年にわたり「プチ・ホームページサービス」を利用していたのですが、2020年1月31日をもってサービス提供終了との報がありました。

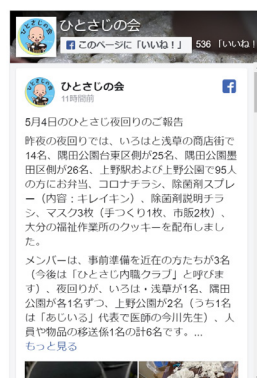
ちょうど10周年ということもあり、HPのリニューアル作業にいそしんでおりました。旧HPにも愛着があったので、なくなってしまうのはちょっと寂しいですが…。

そして、いよいよ新HPに移行しました。といっても、基本的なメニューは以前のまま。とくに大変だったのが、目玉コンテンツである「活動日誌」（新HPでは「参加者の声」）の移行作業です。初めてボランティア参加された方々に執筆いただいた合計160本以上もの記事を、手動でせっせとコピー＆ペーストしました。

おかげで、昔なつかしい感想文を読み直すことができ、一気にこの10年を振り返ったような気分になりました。いろいろな方々のひとさじの善意や行動が積み重なることで、この活動が成り立っているのだなとあらためて気づかされました。

現在はひとさじの会のFacebookページも作られていて、日々の活動はそちらで報告しています。新HPのトップページでそのまま閲覧で

◇最新情報 / facebookページ



きるように設置できました。全体的にスマートフォンでも見やすいレイアウトに仕上がったと思います。

最後に見逃せないチェックポイントを。ひとさじの会の Mascot キャラクターの「ふーちゃん」ですが、実は旧HPでは、スプーンやおにぎりだけでなく、春夏秋冬の季節に応じた食べ物をたずさえたデザインを採用した時期もありました。今回、一気にそれらをお蔵出し（下記参照）。ぜひ「Who is ふーちゃん？」のメニュー欄もご覧ください！

◇Who is ふーちゃん？

—ふーちゃんのプロフィール—

●本名：慈心（じしん）
阿弥陀さまの化身といわれる善導大師の「慈心相向 佛眼相看」という言葉から、お師匠さまがつけてくれました。

●あだ名：ふーちゃん
みんなからはお布施の「ふーちゃん」と呼ばれています。

●年齢：15才
中学校を卒業してすぐに、法然上人のような心やさしいお坊さんになろうと決意したんです。



イラスト提供：鶴井猛

令和元年度決算報告

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日
(単位:円)

収入の部

科目	項目	細目	予算額	決算額	差異	備考
賛助金	賛助金		2,000,000	2,158,000	▲ 158,000	会員及び正規会員の賛助金、並びに諸団体の賛助金(太田慈光会40万円)の合計
	事業協力金		480,000	480,000	0	(公財)浄土宗ともいき財団より助成金として48万円
	合計		2,480,000	2,638,000	▲ 158,000	
その他	雑収入		10,000	8,500	1,500	銀行口座利息 夏祭り売上
	繰越金		3,439,789	3,439,789	0	前年度繰越金
	合計		3,449,789	3,448,289	1,500	
総計		5,929,789	6,086,289	▲ 156,500		

支出の部

科目	項目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業費	炊き出し費	食材		205,302		アメ(¥94,956)、おにぎり(¥79,872)、その他食材ふりかけ等(¥30,474)
		医薬品	1,300,000	121,024		医薬品
		配布物		506,175		下着類、寝袋(¥165,186)、軍手、カイロ、交通費等
		消耗品等		105,132		サララップ、紙コップなど
	合計	1,300,000	937,633	362,367		
	研修会費		150,000	0	150,000	
	活動推進費	企画製作費	300,000	111,051	188,949	ホームページ、バッチ、おにぎり通信、リーフレット等
	設備費	倉庫等	700,000	600,000	100,000	炊き出し会場賃貸費(公財)浄土宗ともいき財団の助成金から支出 光照院へ消耗品費
	提携事業費		300,000	151,779	148,221	りんりんふえす(¥4,785)、夏祭り(¥46,994)、祈りの道助成金(¥100,000)
	交通費補助費		300,000	97,696	202,304	夜回り時の交通費
特定活動費		1,300,000	530,629	769,371	法賢支部の冷蔵庫、極楽堂クリスマスプレゼント	
合計		4,350,000	2,428,788	1,921,212		
管理費	人件費		600,000	0	600,000	
	事務費		220,000	112,348	107,652	事務用品、会計庶務費
	通信費		100,000	14,360	85,640	郵送料等
	会議費		100,000	85,412	14,588	理事会会議費等
	雑費		50,000	16,812	33,188	手数料
合計		1,070,000	228,932	841,068		
予備費		509,789	0	509,789		
総計		5,929,789	2,657,720	3,272,069		

総収入	6,086,289
総支出	2,657,720
次年度繰越金	3,428,569

令和元年度 寄附寺院・団体 (順不同敬称略)

浄土宗ともいき財団、太田慈光会、在日ベトナム仏教信者会「随縁禅室」、もやい、全国青少年教化協議会、テラネット、ハーモニー、水月会、寺子屋カフェ、九品院(佐世保市)、回向院(墨田区)、正覚院(江東区)、來運寺(天童市)、誠心院(台東区)、引接寺(那珂市)、極楽寺(福山市)、地蔵寺(有田市)、十念寺(長野市)、泉福寺(江戸川区)、光明院(流山市)、感応寺(世田谷区)、宝蓮寺(栃木市)、安養寺(江戸川区)、來福寺(品川区)、慈恩寺(仙台市)、向谷寺(山形市)、安楽寺(野洲市)、常福寺(北九州市)、法城寺(碧南市)、慶岸寺(横浜市)、成願寺(田村市)、宝国寺(いわき市)、菩提院(いわき市)、蓮宝寺(府中市)、照光院(江東区)、玄向寺(松本市)、法學寺(長野市)、西門寺(足立区)、常念寺(仙台市)、愚鈍院(仙台市)、西蓮寺(米沢市)、眞福寺(飯塚市)、大雲寺(江戸川区)、満蔵寺(いわき市)、長昌寺(杵築市)、成覺寺(仙台市)、実性寺(足立区)、良心寺(横須賀市)、法源寺(富士市)、眞行院(台東区)、大長寺(鎌倉市)、妙長寺(河内長野市)、常行院(松戸市)、浄念寺(桶川市)、長伝寺(港区)、大王寺(春日部市)、圓通寺(江東区)、妙雲寺(益田市)、光源寺(文京区)、大蓮寺(川崎市)、正光寺(北区)、眞勝院(葛飾区)、福泉寺(甲賀市)、瑞泉寺(台東区)、西福寺(厚木市)、安養寺(大分市)、弘経寺(結城市)、大道寺(大阪市)。ひとなべ会員2人、ひとはち会員98人、ひとさじ会員39人。

浄米・物資寄付並びに活動協力寺院・団体 (順不同敬称略)

大翁寺(境町)、莊厳寺(取手市)、延命寺(取手市)、慶岸寺(横浜市)、西福寺(厚木市)、佛道寺(大和市)、海禅寺(金沢市)、明国寺(松江市)、林昌寺(春日井市)、浄念寺(村上市)、正円寺(沼田市)、西生院(水俣市)、玉圓寺(堺市)、東京佛光山寺(板橋区)、法源寺(富士市)、西蓮寺(米沢市)、大林寺(稚内市)、西光寺(石巻市)、泉水寺(富津市)、良心寺(横須賀市)、照光院(江東区)、西念寺(二本松市)、善光寺(松戸市)、來運寺(天童市)、在日ベトナム仏教信者会「随縁禅室」、天然寺(木島平村)、大雲寺(江戸川区)、眞行院(台東区)宗圓寺(台東区)、本通寺(台東区)、長昌寺(台東区)、來迎寺(香取市)、正定寺(古河市)正覚寺(古河市)、回向院(墨田区)、雲上寺(塩竈市)、玄向寺(松本市)、長昌寺(杵築市)、東光寺(板橋区)、仏教伝道協会、シンママ熊本応援団、マイトリーヘルプサービス、つくろい東京ファンド、ピックイシュー基金、山友会、ポレポレ、台東区の子育てを支え合うネットワーク、あじいる、下町グリーンサポート響和国、片山農園、大船渡市天使の森、利嘉、インフォームド。その他、個人からのご寄付も頂戴いたしました。ご支援下さったすべての方に深く感謝を申し上げます。

ひとさじの会代表 高瀬頭功拝